

これからの福祉を ともにつくる

～バリアフリー2026で大阪の福祉を発信！～

4月15日～17日の3日間、インテックス大阪にて西日本最大級の介護・福祉の総合展示会「バリアフリー2026」が開催されました。

期間中開催されたセミナーには本会会員施設も登壇し、実践事例の報告などを通して、これからの福祉を考える機会となりました。



介護の生産性向上の最前線 老人施設部会

#人にしかできないケア #ケアの質 #テクノロジーと共に #働きやすさ

セミナーでは、介護テクノロジーの導入を通じた、職員の負担軽減とケアの質向上の両立をめざす2つの実践が紹介されました。高槻荘からは、リフト機器導入による身体的負担軽減やケアの標準化、定着に向けた体制整備の重要性について報告がありました。

また、第二成法苑つむぎからは、インカムや見守り支援機器、AI記録作成システムなどを「相棒」と位置づけ、業務効率化や職員の働きやすさ向上につなげている実践が紹介されました。セミナーを通じて、介護テクノロジーは「人を減らす」ためではなく、「人にしかできないケア」を充実させるための重要な手段であることが共有されました。



登壇者 ・特別養護老人ホーム高槻荘 松岡 拓志さん 多田 亜希子さん ・特別養護老人ホーム第二成法苑つむぎ 小山 隆博さん

福祉の新たな可能性！ 大阪青年経営者会

#越境 #縁福 #共創 #次世代を担う #不易流行 #Change the World

新たな福祉の可能性と多様な実践を共有する内容のセミナーを開催。福祉の枠を越えた共創や、地域の中で育まれる幸福のあり方など、これから福祉に求められる新たな可能性を探りました。高齢・母子・障がい・救護・保育各分野の会員から、子ども食堂やヤングケアラー支援、移動支援、多機関とのコラボなど、福祉の枠を越えた地域実践を紹介。地域の中で「寄り添い・越境し・つながる」ことで価値を生み出すものであり、社会福祉施設が地域とともに成長していく存在であることを発信しました。



登壇者 (福)みささぎ会 奥田 昶視さん、(福)玉美福祉会 西島 勇太さん、(福)八尾隣保館 近藤 龍太郎さん、(福)この家 樽本 敦史さん、(福)みなと寮 小中 唯靖さん、(福)堺暁福祉会 宮田 和城さん、(福)江東会 梁川 閏奎さん ※発表順

地域におけるつながり 社会貢献推進室

#地域貢献 #地域共生社会 #ふくしのまちづくり #大東市 #大阪しあわせネットワーク

大東市地域貢献委員会による、施設と社協が行う地域貢献活動について発表しました。発表では、昨年度実施した地域貢献委員会フェスタにおいて、福祉施設が行う居場所づくりや災害対策など、地域住民の生活を支える活動を周知した件を報告。地域における支えあい、つながりの必要性を参加者に伝えました。



登壇者 神戸学院大学 西垣 千春名誉教授、社会医療法人若弘会 前田 弘弘さん、(福)ハートフル大東 濱口 征弘さん、(福)大東市社会福祉協議会 稲田 圭都さん

大阪授産事業振興センターバザー出展！

期間中は大盛況！温かい笑顔と交流がバザー内にあふれました。ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。



思いと思いをつなぐ ボランティア体験

～“つなぐ”その先を生み出す～



大阪府社協と市町村社協はボランティアを気軽に体験できる「ボランティア体験プログラム」（以下、体プロ）を毎年実施しています。今回は、プログラムや協力団体の拡充、参加者への手厚いサポートなど、ボランティアのすそ野拡大に積極的に取り組む羽曳野市社協を紹介いたします。

ここ数年、羽曳野市社協（以下、市社協）では、体プロに力を入れ、多くの団体と連携しながら活動を広げています。背景にあるのは、「コロナ禍で縮小してしまった体プロを充実させたい」、「他社協の取り組みに刺激を受け、自分たちも新しい挑戦をしたい」という強い思いです。

新たな工夫

まず、「幅広い分野から一人ひとりに合った体験の場をつくりたい」と協力団体の拡大に取り組みました。

今まで別々に実施していた介護予防事業（羽曳野市きらきらシニアプロジェクト）介護支援サポーター事業（ジエクト介護支援サポーター事業）の受け入れ施設への説明会と、体プロ説明会の同時開催や、WAMNETに掲載されている市内全348施設へのチラシ送付を行いました。

また、市教育委員会に依頼し、小中学校向け保護者連絡ツール（teetor）で情報配信や、校長会でも直接説明するなど、PRも強化しました。令和8年度は、実際にボランティア

思いをうけとめてつなぐ

体プロでは、市社協が参加者と協力団体をつなぐ役割を担っています。

担当の前原さん、松田さん、新さんは、参加者と協力団体、それぞれの思いや不安、活動内容を理解したうえでつなげることを大切にしています。

このような関係づくりを続けることで、参加者だけでなく、協力団体側にも変化が生まれています。

ボランティア活動へ参加する前には、活動内容や注意点などを分かりやすく説明し、平日であれば職員が体験先へ同行することで、参加者からは、「最初は不安だったが、実際に体験してみると楽しかった」「活動にハマった」といった声が寄せられています。



右から前原あゆみさん、松田ひなたさん、新賀子さん

また、協力団体にとっては、普段知りあうことが少ない世代との交流が利用者への良い刺激になっており、「こんな笑顔見たことないわ」と施設の方からの驚く声も。このように、ボランティア活動への参加継続や受け入れの拡大など、良い協働が生まれています。

つながることはおもしろい

担当職員は、「人と人とのつながりは本当におもしろい。つながることで元気をもらえ、自分たちも頑張ろうと思える」「私たちはボランティアの皆さんが大好き。だからこそ、社協や地域を好きになってもらいたい」と笑顔で語ります。

市社協は、これからも人と人、思いと思いをつなぎながら、新たな協働の輪を広げ続けていきます。

ボランティア体験プログラム

地域でのお祭りイベントや施設でのお手伝い、手話学習やボランティアグループと一緒に体験など...さまざまなプログラムが用意されています。下記の二次元コードを読み取り、HPでお住まいや興味のある市町村をクリックしていただくと、体プロの内容や申込み方法などの詳細が確認できます。

ポチっ！とはじめてみませんか!!

HPはこちら



高齢者施設でのカフェボランティアの様子